

災害時の栄養・食生活支援ケース一覧表（発生順）

NO	災害種類	ケース			学習目標 (どのような事を学べるケースか)
		立 場	所 属	概 要	
1	地 震	受援側	本 庁	3年前の災害経験を踏まえ、他県からの受援は行わず、被災県内の保健所栄養士及び県栄養士会で支援を行うために、本庁管理栄養士が調整を行ったケース	<ul style="list-style-type: none"> ・災害経験を踏まえて作成した「県災害時栄養・食生活支援活動ガイドライン」が活用できたのが学ぶ ・被災地への応援体制について、県外からの受援は行わず、県内の行政栄養士及び県栄養士会との連携による支援方法を学ぶ ・被災地管轄保健所の管理栄養士と本庁管理栄養士との連携を学ぶ ・本庁管理栄養士と県災害対策本部との災害時の連携を学ぶ
2	地震津波	応援側 (県外)	保健所	被災地でない都道府県から他職種とのチームで派遣され(発災30日後)、現地では管理栄養士として別行動で、他県の栄養士チームとして6日間支援したケース	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の県外からの管理栄養士応援チームの活動を学ぶ ・発災後1か月がたち、避難所の集約が予定される中での支援を学ぶ
3	地震津波	応援側 (県外)	保健所	被災地でない都道府県から他職種とのチームで派遣され(発災40日後)、現地では管理栄養士として別行動で、他県の栄養士チームとして6日間支援した	<ul style="list-style-type: none"> ・発災後1か月がたち、避難所の集約にむけた食事提供体制の準備活動を学ぶ ・炊き出しによる支援内容や課題を学ぶ
4	地震津波	応援側 (県外)	本 庁	県外で発生した大規模災害で、県外の県庁管理栄養士が、被災県へ管理栄養士派遣の調整を行ったケース	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁での被災地応援のための県及び市町村行政管理栄養士の派遣調整を学ぶ ・被災地で応援活動する行政管理栄養士に対する応援元での支援内容を学ぶ ・行政管理栄養士による応援の初段階での活動内容を学ぶ
5	地震津波	応援側 (県外)	保健所	県外で発生した大規模災害、被災県の近隣である管内に、県外からの被災者を開設した避難所で受入れて支援を行ったケース	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の受入れに際し、管内市の管理栄養士と連携して食事提供の調整方法を学ぶ ・要配慮者への支援内容を学ぶ ・避難者への健康教育の実施方法を学ぶ
6	地震津波	受援側	保健所	管轄の2市に対して、発災直後から特定給食施設の支援や市管理栄養士と連携した避難所への食事提供支援を行ったケース	<ul style="list-style-type: none"> ・発災直後に保健所管理栄養士が管内の特定給食施設に行ったアセスメントや支援を学ぶ ・発災後から炊き出し管理に従事していた市管理栄養士を、避難所での栄養・食生活支援活動に従事するための調整を学ぶ ・避難所での食事調査結果を踏まえた支援方法を学ぶ
7	豪雨災害	受援側	保健所	保健所自身が水害で被災した中で、保健所職員と連携し、管内の特定給食施設や被災市の避難所の食事提供を支援したケース	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所の関係各課との連携を学ぶ ・特定給食施設に対する支援や連携を学ぶ ・避難所で提供する弁当の内容改善を学ぶ
8	豪雨災害	受援側	保健センター	これまでに被災経験のない政令市の管理栄養士が、避難所で被災者の栄養相談と提供する食事の改善を行ったケース	<ul style="list-style-type: none"> ・職場での留守番から行政管理栄養士としての業務への移行を学ぶ ・避難所での個別支援を学ぶ ・行政管理栄養士の訴えにもとづく食事改善を学ぶ
9	地 震	応援側 (県外)	保健所	被災及び派遣経験が十分ある管理栄養士が、被災した町に派遣され、JDA-DATと活動を連携して支援したケース	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所で活動する県外からの応援管理栄養士とJDA-DAT管理栄養士との連携調整を学ぶ ・複数の県から応援にくる行政管理栄養士のコーディネートを学ぶ
10	地 震	受援側	保健所	はじめての被災、管轄する市町村の支援と併せ、特殊災害ステーションを設置し、支援したケース	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所に特殊栄養食品ステーションを設置、その後の支援を学ぶ ・被災市町管理栄養士との連携を学ぶ

災害時の栄養・食生活支援ケース一覧表（発生順）

NO	災害種類	ケース			学習目標 （どのような事を学べるケースか）
		立 場	所 属	概 要	
11	地 震	受援側	本 庁	県内の4保健所管轄でおきた大地震、 県外からの派遣要請やJDA-DATの要 請、関係団体との調整を行ったケース	・本庁での被災地応援のための県管理栄養士及び他県行政栄養 士の派遣調整を学ぶ ・関係団体への対応を学ぶ ・本庁での特殊栄養食品ステーション設置を学ぶ
12	地 震	受援側	保健所	広域的に発生した地震で、最も被害の 大きな市町村を管轄する保健所管理栄 養士が、他県から多く派遣される管理 栄養士の受援や栄養士会との調整を 行ったケース	・発災直後の保健所管理栄養士の動きを学ぶ ・栄養士会や他県行政管理栄養士の受援調整の実際を学ぶ ・被災町村が管内に複数ある場合の対応を学ぶ
13	地 震	受援側	本 庁	大規模な地震発生、政令市の本庁管理 栄養士が、関係各課との連携に苦慮し ながらも調整を行ったケース	・政令市本庁での関係各課との連携を学ぶ ・JDA-DATとの連携を学ぶ ・支援物資の対応を学ぶ
14	地 震	受援側	区役所 （保健セ ンター）	災害発生時は、所属の担当業務に追わ れる中、避難所での栄養・食支援を 行ったケース	・区役所職員の担当業務を行いながら、栄養・食生活支援活動 を開始する経緯を学ぶ ・市役所内の各担当課との連携による支援を学ぶ ・避難所運営者との連携を学ぶ
15	地 震	応援側 （県外）	保健所	他県で発生した災害、県保健所管理栄 養士が政令市の保健センターに派遣さ れ支援を行ったケース	・応援に行くまでの準備内容を学ぶ ・現場での支援活動をととした課題について学ぶ
16	地 震	応援側 （県外）	保健所	他県で発生した災害、被災市町村を複 数管轄する保健所管内で、市の食事提 供支援を行ったケース	・発災後2週間がたち、被災市の行政管理栄養士が栄養・食生活 支援活動を前面に実施できない状況での支援活動を学ぶ ・避難所運営者との連携を学ぶ
17	豪雨災害	受援側	本 庁	豪雨災害で被災した中核市や管轄保健 所の支援と、県栄養士会との調整を 行ったケース	・県栄養士会と県内保健所管理栄養士による支援チームの調整 を学ぶ ・中核市と管轄する県保健所、DHEATとの連携を学ぶ
18	豪雨災害	受援側	保健所	豪雨災害で被災した2市を管轄する保 健所に異動したばかりの管理栄養士 が、他保健所の管理栄養士やDHEAT管 理栄養士と連携して支援したケース	・県内の他保健所管理栄養士との連携した活動を学ぶ ・保健師活動との連携を学ぶ ・管内中核市との栄養・食生活支援活動の連携を学ぶ
19	豪雨災害	受援側	保健所	豪雨災害で被災した市の管理栄養士が 炊き出しに従事し、避難所の栄養・食 生活支援ができない状況を調整し、避 難所支援を一緒に行ったケース	・被災市管理栄養士が炊き出し従事から避難所の栄養・食生活 支援業務への移行を学ぶ ・県栄養士会との連携を学ぶ
20	豪雨災害	受援側	保健所	豪雨災害で甚大な被害を受けた中核市 の管理栄養士が、地域災害保健復興連 絡会議のもと、特定給食施設や避難所 の支援を行ったケース	・特定給食施設へのアセスメントを学ぶ ・災害対策本部への食事改善に向けた提案を学ぶ ・避難所の食事改善に向けた業者との対応を学ぶ